



発行所
明野駐屯地
広報班

新隊員卒業

〜令和5年度 新隊員課程後期(PAC)〜



卒業式

令和5年9月15日航空学校において、令和5年度新隊員課程後期の卒業式が行われました。今年度入校した新隊員6名は、令和5年7月4日〜9月15日までの約2か月間、航空科隊員として必要な航空機整備、通信整備及び野外における諸行動に関する基礎知識・技能を修得するための教育訓練に取り組んでいました。

卒業式では、新隊員の御家族の他、三重県隊友会、三重県自衛隊家族会及び明野OB会の各会長にご出席いただき、一段と逞しくなった姿を見ていただくことができました。新隊員達はそれぞれ、明野本校、霞ヶ浦校、宇都宮校、飛行教導隊へそれぞれ配属されました。彼らが今後、陸上航空戦士としてますます活躍することを期待します。



航空機整備(実機研修)



野外訓練(特殊武器防護)



シミュレーター研修



明野駐屯地

花火

打ち上げ

令和5年8月8日に、4年ぶりとなる駐屯地「納涼祭」と花火の打ち上げを予定していましたが、台風の影響に伴う荒天により中止を余儀なくされました。しかし駐屯地としては花火だけでも打ち上げたい！その願いが届いたのか、打ち上げに絶好のタイミングが訪れ、見事、花火を打ち上げることができました。

今回の花火の打ち上げにご協力くださいました駐屯地協力会の皆様並びに地域の皆様に心より感謝申し上げます。

花火の打ち上げの様子は、航空学校/明野駐屯地YouTubeチャンネルをご覧ください。是非ご視聴ください。



動画はこちら

↓↓↓



05

HTC訓練

〜第5対戦車ヘリコプター隊〜

第5対戦車ヘリコプター隊は、令和5年7月5日〜23日までの間、北海道大演習場で行われた05 HTC訓練に参加した。

陣地攻撃(第10師団)と陣地防御(第11旅団)の実働対抗演習として実施された本訓練には飛行隊長以下25名、AH-1S×2機、車両7両で参加し、第10師団に直接協力する対戦車ヘリコプター隊としての任務を遂行した。バトラを活用した実践的訓練によりヘリコプター火力戦闘能力の向上を図ることができた。



バトラ準備中



弾薬搭載



AH-1S離陸!

航空学校副校長 岸田1佐 着任

令和5年8月1日付で航空学校副校長に岸田佳明(きしだ よしあき)1等陸佐が三重地方協力本部長より着任しました。岸田1佐は明野駐屯地において過去に、航空学校主任教官、第5対戦車ヘリコプター隊長、航空学校研究部長を歴任しており、豊富な経験を持つ岸田1佐が着任し、航空学校・明野駐屯地は新たな体制で校務及び駐屯地運営をスタートしました。



航空学校 副校長
1等陸佐

きしだ よしあき
岸田 佳明

主要部隊歴

- 平成19年3月 第3飛行隊長 (八尾)
- 23年4月 第1師団司令部第2部長 (練馬)
- 25年4月 陸上自衛隊航空学校主任教官 (明野)
- 25年8月 第5対戦車ヘリコプター隊長 (明野)
- 27年3月 陸上自衛隊航空学校研究部長 (明野)
- 29年12月 第3師団司令部監察官 (千僧)
- 令和2年12月 中部方面航空隊副隊長 (八尾)
- 3年12月 自衛隊三重地方協力本部長

部 隊 紹 介

航空学校 第2教育部



UH-2

航空学校第2教育部は、教務課及び教官室で構成されており、航空操縦士の養成教育を主に担当しております。令和5年8月に着任された第2教育部長大島1佐を核として、部長要望事項である「チームワーク」を達成するべく日々関係各所と連携し、現在及び将来予測される厳しい任務を完遂し得る航空操縦士を輩出するべく資質教育及び識能教育に取り組んでいます。

現在は、TH480B、AH-1S、UH60、JA及びOH1各機種の操縦教育に加え、令和5年1月から陸上自衛隊最新機種のUH-2機種転換集合教育及び機長集合訓練を開始しました。その他、計器飛行検定官課程やCRM集合教育、NVG指導官集合教育、指導操縦士集合訓練等の教育も担当しており操縦士の練度を向上させ、全国航空科部隊の精強化に寄与しています。教官及び助教は、学生に必要な識能を付与するため、熱意をもって教育にあたり、ともに、シミュレータ等の教材を適切に管理して全国の部隊訓練支援も併せて行っています。



TH-480B



OH-1



AH-1S



UH-60JA

これからも、全国の部隊等と連携・協力しつつ、部職員一丸となり航空科部隊の「活模範」の意識を堅持し、今後の陸上航空を担う隊員の教育を担当してまいります。日々ご協力頂いており、皆様に関係者並びに地域の皆様に感謝しますとともに、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。

真珠抄

挨拶で事故を防ぐ

「事故を起こす人は会ってすぐわかりませんから。」
交通安全講習でJAFインストラクターの講師が言っていた言葉である。挨拶ができるという証である。挨拶の目的は「相手の心を開き、相手の心に近づく」にあるが、もっと具体的に言えば、挨拶とは、自分の置かれている立場や環境を常に把握し、いち早く相手の存在を認め、相手と自分の関係を理解し、相手の気持ちやその場の空気を読んで、対峙した刹那にこちらの気持ちを伝えるのである。この気配りこそ、まさに交通事故を防ぐために必要な能力である。
自分の機嫌が悪い時や、苦手な相手だった場合は挨拶しないことはないだろうか。しかし、自分の機嫌や相手によって事故を起こしてもいい時があるだろうか。とりあえず、事故を起こさない人になるために挨拶をしてはどうだろうか。さらに、挨拶できるかどうかは自分の機嫌のバロメータにもなる。何となく挨拶が苦になる日は、機嫌が悪く気配りがおろそかになりがちである。そんな時は、「今日は事故を起こすかも知れない」と思っ、より慎重に行動するのが賢明である。

整備部長

新着任部隊長紹介

飛行実験隊長

1等陸佐



ふじわら ひでゆき
藤原英之

教育訓練研究本部付（目黒）より参りました。明野勤務は久しぶりなので、新たな気持ちで色々と学んでいこうと思います。よろしくお願いします。

第10飛行隊長

2等陸佐



おぎわら けいた
荻原恵太

航空学校研究部より参りました。歴史と伝統ある第10飛行隊の飛行隊長として頑張る所存です。よろしくお願ひ致します。

中部方面システム通信群 第104基地システム通信大隊

第306基地通信中隊 明野派遣隊長

3等陸尉



まえだ たくじ
前田拓治

常続不断のシステム通信の提供および駐屯地事業や部隊のニーズに対応したシステム通信を提供することで、駐屯部隊の任務達成に貢献したいと思ひます。派遣隊一同よろしくお願ひ致します。

第107全般支援大隊整備中隊 明野派遣隊長

3等陸尉



ひがしまる ひろき
東丸弘樹

第107全般支援大隊（桂）から参りました。今後も派遣隊共々よろしくお願ひ致します。

栄光の紹介

UH60JA飛行再開に伴う功績
整備部 山崎曹長



「より一層の安全確保の為に努めてまいります。」

UH60JA飛行再開に伴う功績
整備部 押方2曹



「今後も識能向上に努めるとともに、航空安全に留意してまいります。」

UH60JA飛行再開に伴う功績
整備部 山下2曹



「今後もより一層航空安全に尽力してまいります。」

UH60JA飛行再開に伴う功績
整備部 縄本3曹



「今後さらに可動機確保と、航空安全に努めて頑張つていきます。」

新隊員助教としての功績 第5級賞詞
整備部 堀 3曹



「今回の経験を活かして、引き続き技能・識能の向上に努めます。」

#14311陸曹候補生課程 中隊長賞
第5対戦車ヘリコプター隊 堀本土長



先輩方に負けないように精進していきたいと思ひます。

定年退官

※退官日順



五月三日
整備部
准陸尉
濱田 淳司



六月二十日
総務部
陸曹長
佐々木 康二



七月十一日
総務部
二等陸佐
大竹 裕人



七月二十二日
総務部
准陸尉
古立 美代



八月一日
整備部
一等陸曹
奥山 由佳



八月三十日
総務部
一等陸佐
奥山 智司